

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address, etc. Rows include 一番堀通町, 川岸町1~3丁目, 学校町通2番町, 水道町1丁目, 白山浦1・2丁目, 白山浦新町通.

●位置図

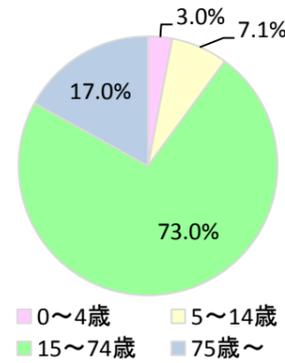


●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等 (白山浦庁舎), 警察・消防 (白山駅前交番), 消防団 (中央方面隊 鏡淵分団), 水防倉庫 (川岸町), 一時避難場所 (—), 広域避難場所 (—), 主な用要施設配設慮者 (幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, 障がい者福祉施設).

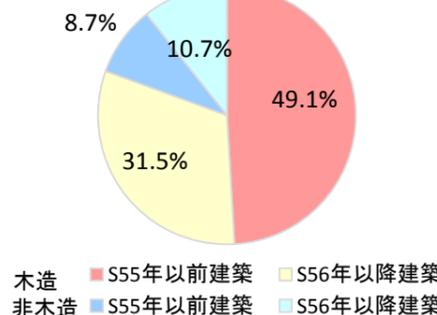
●人口

Table of population statistics: 総人口 (5,379人), 0~4歳 (162人), 5~14歳 (380人), 15~74歳 (3,925人), 75歳~ (912人), 65歳以上人口 (1,648人), 世帯数 (2,726世帯), 一世帯あたり人口 (2.0人/世帯), 人口密度 (4,935人/km²), 昼間人口 (12,333人).



●建物関連指標

Table of building indicators: 総棟数 (2,317棟), S55年以前建築 (1,137棟), S56年以降建築 (730棟), 非木造 (202棟), S56年以降建築物 (978棟).



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

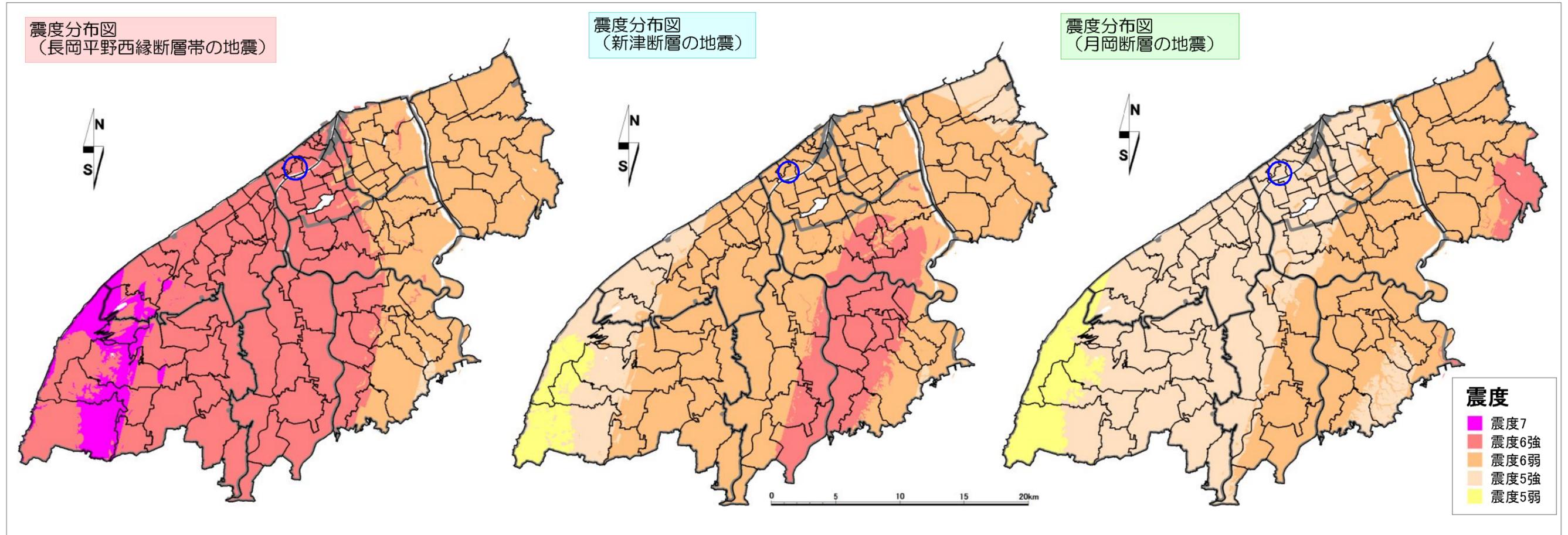
Table of evacuation sites within the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes 鏡淵小学校, 新潟商業高等学校, etc.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation sites outside the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes 浜浦小学校, 関屋小学校, etc.

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risk: 地震 (津波), 水害 (洪水). Describes risks from the Tone River and flooding.



| | 長岡平野 西縁断層帯 | 新津断層 | 月岡断層 |
|----------------------------|--|--|--|
| 地震の規模: モーメント マグニチュード | 7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当) | 6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当) | 6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当) |
| (参考※) | 平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度 | 明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。 | 平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度 |

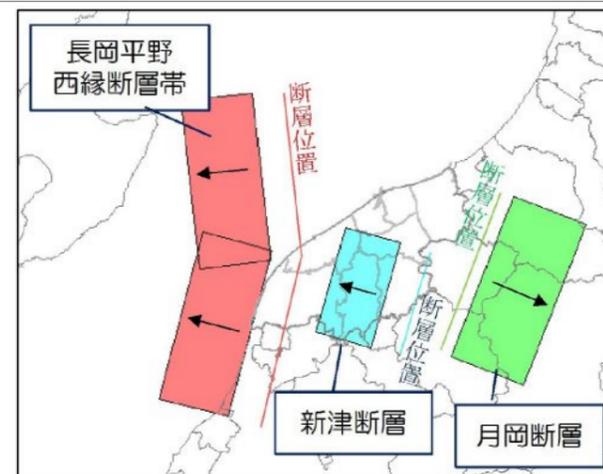
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

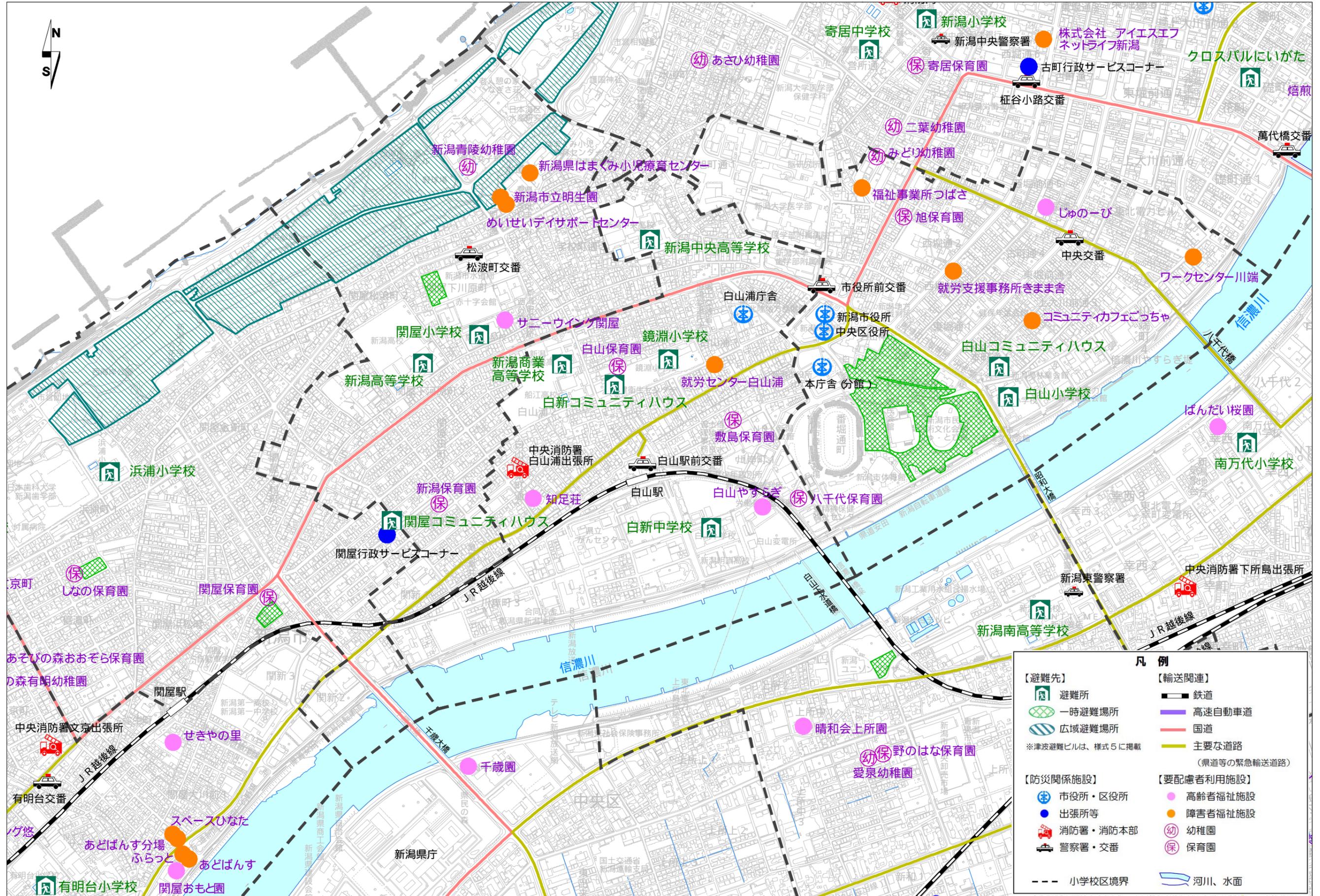
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



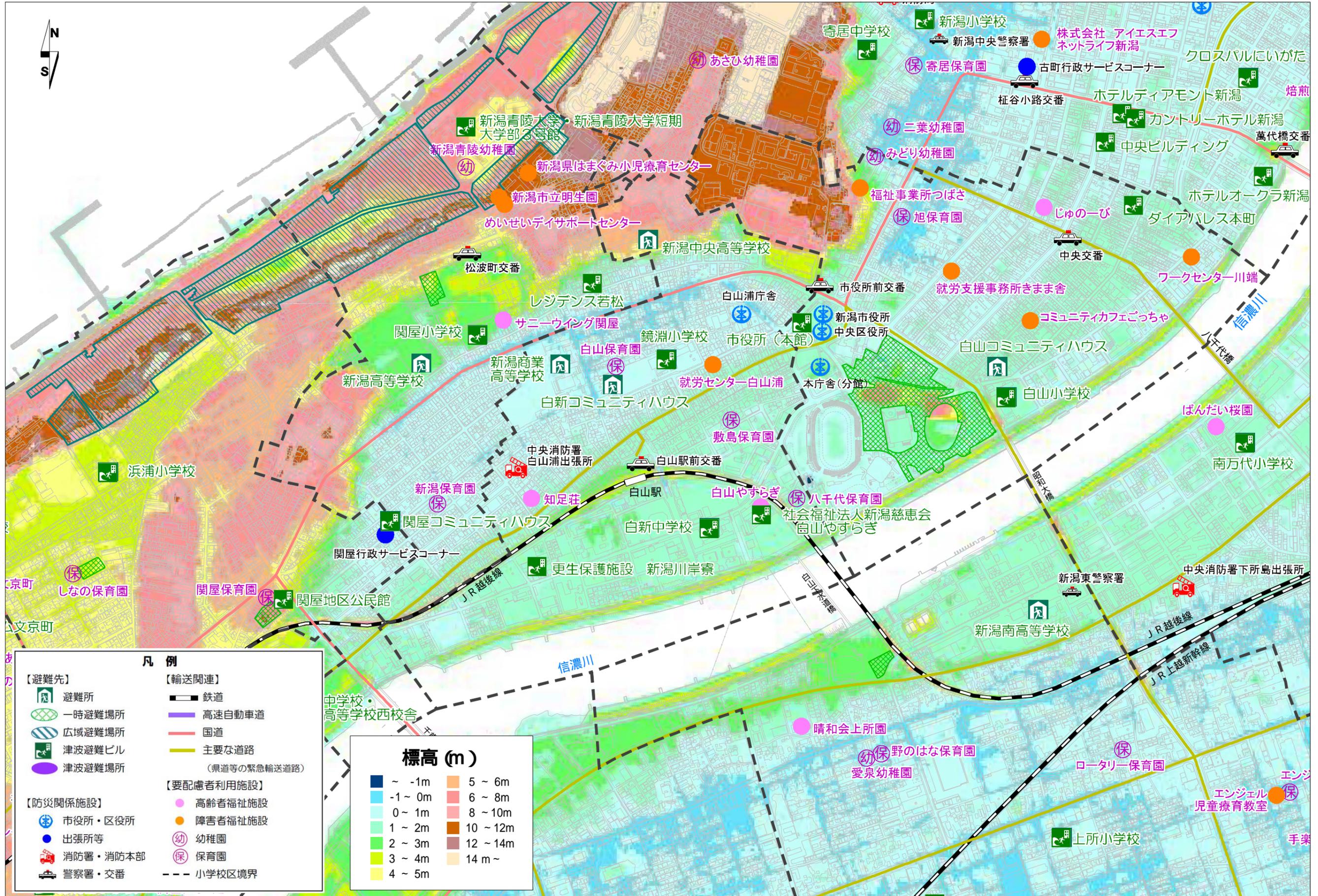
← は、断層の傾きを示しています。



[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



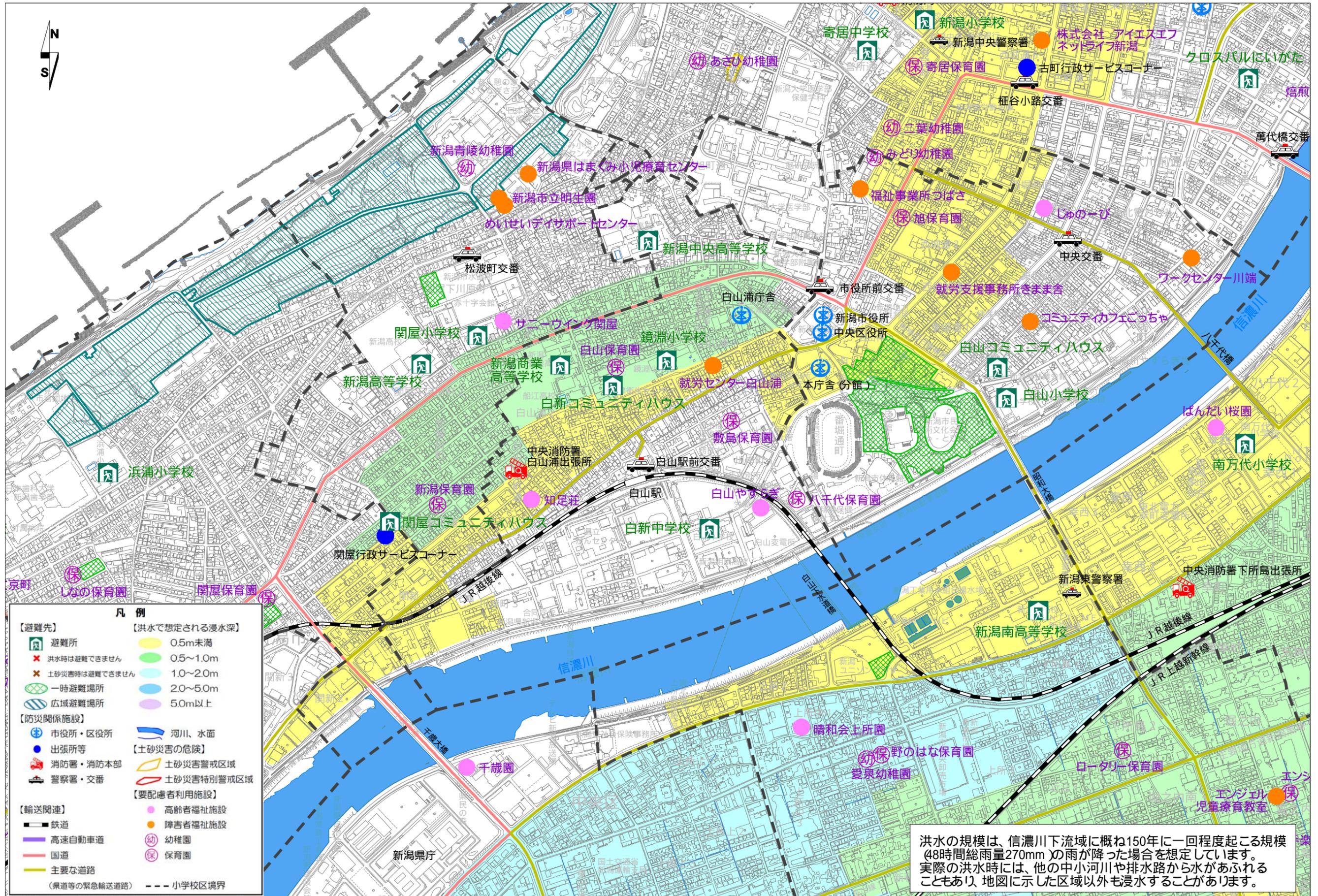




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

0 100 200 400 600 800 1000m

様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）



洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

